

在校生ファイル No.002

氏名

越後谷 健太

学年・所属

資源開発環境コース 4 年次
資源環境物質循環研究室



国際資源学部を進める理由

資源開発について学びたい！という気持ちで国際資源学部を受験しました。入学してから資源開発を学ぶためには語学はもちろん地理、経済学、化学、物理と幅広い分野の知識を得なければならないことがわかりました。でもそのような幅広い知識が得られる授業がたくさん開講されているので心配ありません。3年生では海外資源フィールドワークという普通の学生では体験できないような実習があるのも魅力の一つです。私は海外資源フィールドワークでセルビア共和国に鉱山廃水の水質調査実習という目的で滞在しました。現地では鉱山開発によって汚染され懸濁した河川や真っ赤な湖を実際に見ました。日本とかけ離れている状態に衝撃を受け、将来水関係の職に就きたいと思える実習になりました。ぜひ国際資源学部に入學して自分の視野、価値観を広げる4年間を過ごしましょう！

研究内容

卒業研究では玉川金属濃度の日変化について研究をします。調査は、実際に現地に赴いて河川の水の採取、金属濃度の測定をします。昼と夜の変化を調査するため、調査は徹夜に近いものになります。研究ではただ金属濃度が変化するのを確認するのではなく、どのような原因からそういった現象が起きているのかを突き止めるのに面白さを感じます。今まで昼と夜にそれぞれ調査をするという経験はなかったのでこの研究結果から今までの調査結果を振り返るということも取り組みたいと考えております。

将来の希望

資源開発における環境問題、その中でも「水」に関わりたいと考えています。資源開発による水質汚染は世界的な問題です。10年後には人口増加に伴い、生活水に困る人口が30億人近くになるといわれています。産業廃水から生活廃水まで幅広い水問題を扱える、国内だけでなく国外でも活躍するエキスパートになり、「水」というものから社会に貢献したいと考えています。

オフタイムにしていること

私は大学の水泳部に所属しており、休日には水泳部の同期と練習をして運動に励んでいます。部活動の友人だけでなく学科の友人と遊ぶことも多いです。この他にも様々なコミュニティに所属しており、休日は暇なことはありません。平日は勉強やバイトに追われる日々ですが、休日はこういったことをしてゆっくりと過ごしています。